

米の買取販売とフレコン出荷体制の整備による米の販売力強化

ぎふ農協(岐阜県)

取組の概要

- 市況価格と連動させた米の農協買取方式(非共計)と全農委託方式(共計)の選択制を導入
- 農家の高齢化が進む中、労力軽減を図るため、フレコン出荷体制を整備
- TACを活用した農家への丁寧な説明対応により、農家の信頼を獲得
→ 農協の集荷率の向上と、農協買取量、フレコン出荷量の大幅アップ

事業化(プロジェクト化)成功のポイント

TACが、次のような提案を大口農家に丁寧に行うことにより、農家からの信頼及び協力が得られ、結果として米の集荷率の向上が図られた。

1 市況価格と連動した価格の設定

- ① 買取価格については、市況価格と連動させて毎週、価格改定を実施し、組合員へ明示。
- ② 買取対象は、50俵以上の出荷契約者に限定。

2 フレコン出荷による農家の労力軽減

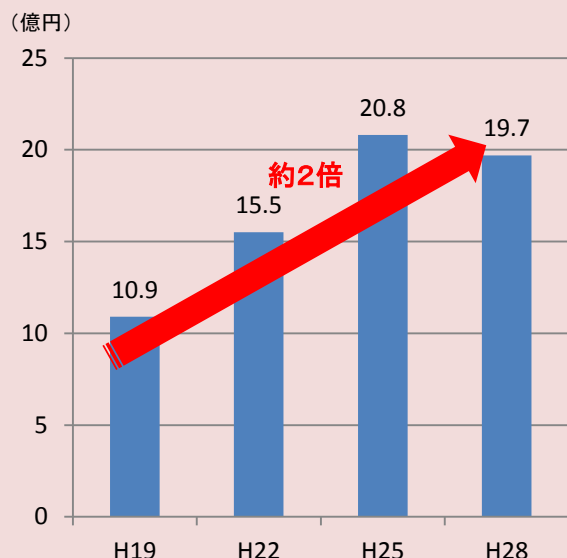
- ① 農家の労力軽減を図るため、フレコン出荷できる施設整備を提案。
→ TACが農家に出向いて、袋詰めからフレコン出荷までの流れを個別指導
- ② 麦のみを固定化して転作しているほ場の雑草対策として、麦跡に飼料用米の作付けを実施。飼料用米は、袋詰めから出荷までの流れが主食米と全く同じであり、既存施設で対応。(農家施設の有効活用と所得向上)

3 買入代金精算の迅速化

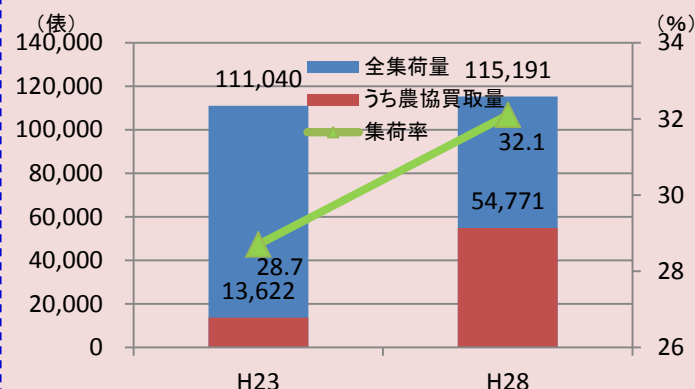
- ① 農家訪問の際に袋・パレットを補給して資材不足による出荷遅延を防止するとともに、出荷状況にあわせた検査日を設定し、倉庫仮置期間を短縮することで買入代金精算の迅速化を図った。
- ② 管内の米の品質向上(上位等級確保)のため、事前に農協職員が農家に出向いて調製指導(篩い目等)を実施。

農協のメリット・農家のメリット

<農協の米穀事業の販売高の推移>



<米の集荷数量等> 集荷率、農協買取量が大幅アップ!



<フレコン出荷数量>

フレコン出荷率が大幅アップし、農家の労働力軽減が図られた!

